

展示 PICK UP

■3F エレベーターホール 図書フロア展示 ~12/18(日)

【日比谷カレッジ関連展示】  
DOMANI・明日展2022-23×日比谷カレッジ  
近藤聡乃、ニューヨークでの  
創作と暮らし



おかつば少女や水の中など、近藤聡乃さんの作品はどこかで見たことがあるような、ないような幻想的な不思議に満ちています。一方、身近な暮らしの中の気づきにも満ちています。それらはどこからやってきたのか？ 著書やつながりのある本が並びます。近藤さんが参加するDOMANI・明日展(於:国立新美術館)へも誘います。※日比谷カレッジの申込みは終了しています。

KiyaKiya  
音楽: ジョン・ゾーン カラー シングルチャンネル・アニメーションビデオ 6分39秒 2010-2011  
©KONDOH Akino, Courtesy of the artist and Mizuma Art Gallery

『ニューヨークで考え中』

- 近藤 聡乃 著
- 亜紀書房
- 2015年

『新版 近藤聡乃エッセイ集 不思議というには地味な話』

- 近藤 聡乃 著
- ナナク社
- 2019年

11月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン  
1階特別展  
「学年誌100年と玉井力三」関連展示(～11/15)

三角台 1922年に創刊されてから今日まで日本の子ども文化を支えてきた数々の学年誌。そして、その学年誌において大きな活躍をした玉井力三。玉井が活躍した昭和時代の子ども文化や社会風俗など、この展示を通して触れていただければと思います。

3F ブルーゾーン  
「《泉》からはじまる?現代アート」(～2023/2/17) NEW!

本展示では、一般的に難しいと思われがちな現代アートについて、誰もが親しむことができるように、現代アートに関連する本を「まなぶ」、「しる」、「であう」といった、いくつかの категорияに分けて紹介します。

3F グリーンゾーン  
「こどもへのまなざし」(～2023/1/13)

時代と共に暮らし環境が変化する中で、大人は子どもの生きていく場所を守り続けなければなりません。私たちは未来を担う子どもたちを優しく見守り育てていく為に、何をすればよいのでしょうか。この展示では、さまざまな角度から「子どもとは何か?」を考え、理解するためのヒントを紹介しています。

展示 PICK UP

■2F パープルゾーン 【江戸・東京】の本を集めたゾーン ~12/24(土)

鉄道150年の軌跡

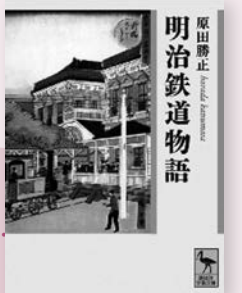


日本の鉄道開業150年にちなみ、「鉄道150年」・「時刻表」・「技術」・車両や駅の看板のデザインを「見て楽しむ」・「旅」など、7つのテーマに分けて資料を並べています。交通インフラとして人と街を支える鉄道の歴史を、本で振り返ってみませんか?



『全国鉄道地図帳』

- 昭文社編集部 編
- 昭文社
- 2020年
- ※館内のみご利用です。



『明治鉄道物語』

- 原田勝正 著
- 講談社学術文庫
- 2010年

常設展示室  
図書フロア 特別研究室  
鉄道開業150年  
Chiyoda Railway Collection

明治5(1872)年に新橋ー横浜間で鉄道が開業して以降、区内では着々と駅・路線が増えていきました。千代田区の近現代の風景には欠かせないものとなっている鉄道。今回は鉄道開業150年に寄せて、収蔵資料から鉄道に関する様々な資料をご紹介します。



高架鉄道より東京駅を望む

●場所: 1階常設展示室  
●期間: 開催中～12月28日(水) ●入場無料



1872年に新橋ー横浜間で開業した日本の鉄道は、今年150周年を迎えました。日比谷図書文化館の各フロアでは鉄道にまつわる様々な企画展示を行っています。貴重な鉄道のコレクションや関連資料などを通して、日本の近代化に大きな役割を担った鉄道150年の歴史をご覧ください。

特別研究室企画展示

内田嘉吉文庫に見る  
鉄道のはじまりと南満洲鉄道・  
朝鮮鉄道・台湾鉄道の旅

日本の鉄道の開業当時の資料や日本統治期の南満洲鉄道・朝鮮鉄道・台湾鉄道の沿線案内、駅舎、路線図などから、明治～昭和初期の鉄道の旅がどのようなものであったかをパネルと内田嘉吉文庫の蔵書で紹介いたします。東京駅の姉妹駅である台湾・新竹駅の建築模型も展示します。



1号機関車(『日本鉄道史 上篇』(鉄道省編/1921年))

●会期: ~12月28日(水)まで  
●開室時間: 平日10:00~20:00、土曜10:00~18:00、日曜・祝日10:00~16:00  
●会場: 4階特別研究室 ●協力(建築模型): 今村仁美(アトリエイマージュ)

関連講座  
12/11(日) 14:00~15:30  
古書で紐解く近現代史セミナー 第42回  
陸蒸気を海に通せ!  
大隈重信と日本の鉄道開業  
講師: 芳野 貴典(佐賀県立佐賀城本丸歴史館 学芸員)

千代田区立図書館  
CHIYODA PUBLIC LIBRARY  
鉄道150年

東京駅研究家 佐々木直樹氏  
鉄道コレクション展

佐々木氏の貴重なコレクションである懐かしの国鉄時代のグッズや「機関車ナンバープレート」「改札・検札鉄」「バリ発東京行 オリент急行のサボ(行先票)」などから鉄道の歴史を振り返ります。東京駅を設計した辰野金吾のモニュメント像も展示しています。※10/25~10/31はご覧いただけません。



●会期: ~12月18日(日) ※途中展示替えあり  
●場所: 3階 エレベーターホール

関連講座  
12/9(金) 19:00~20:30  
東京駅 丸の内駅舎の魅力に迫る  
～保存・復原工事完成から10年を記念して～  
講師: 佐々木 直樹(東京駅研究家)

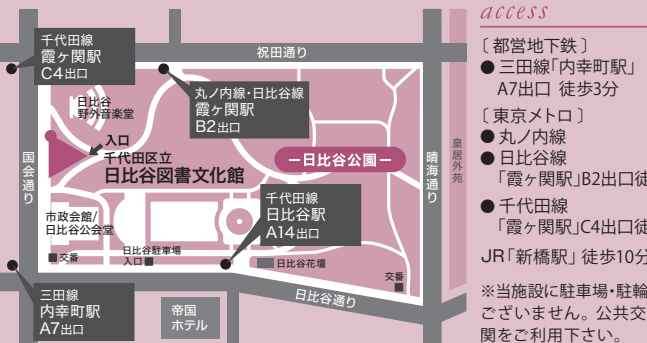
関連講座の詳細は、中面をご覧ください。



calendar 開館時間: 平日10時~22時 ■土曜10時~19時 ■日祝10時~17時 ■休館日

2022年 11月							2022年 12月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	

掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。



access

〔都営地下鉄〕  
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分  
〔東京メトロ〕  
●丸ノ内線  
●日比谷線  
「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分  
●千代田線  
「霞ヶ関駅」C4出口徒歩3分  
JR「新橋駅」徒歩10分  
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

▶▶▶入館の際は、手指消毒・検温、マスク着用のご協力をお願いいたします。

# 11・12月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。各講座は事前申込み順です。定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

## 11/2 (水) 他

### 橋の成り立ちから見る江戸・東京の歴史(全2回)

講師: 紅林 章史 ((公)東京都道路整備保全公社 道路アセットマネジメント推進室長)

東京は7千を超える橋が架かる「橋の都」。その歴史は古く、江戸当初にまでさかのぼる。江戸時代、両国橋建設の背景は? 世界最悪の橋梁事故「永代橋崩落」はなぜ起きたか? 関東大震災の復興で隅田川に様々な構造の橋が架けられた真の理由とは? 東京の橋の謎を探る。  
(企画・協力: NPO法人 建築から社会に貢献する会)



- 日時: 11月2日(水) 19:00~20:30(18:30開場)  
第1回「江戸~明治・大正期」  
11月11日(金) 19:00~20:30(18:30開場)  
第2回「関東大震災復興」
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 各回200名
- 参加費: 各回1000円 ※各回申込みが可能です。

## 11/4 (金)

### 初代国立劇場さよなら公演×日比谷カレッジ コラボ忠臣蔵 歌舞伎と寄席芸の世界

講師: 今岡 謙太郎 (武蔵野美術大学教授)

国立劇場は来年10月末に建て替えのため休館、「初代国立劇場さよなら公演」として11月に「歌舞伎&落語 コラボ忠臣蔵」を上演します。そこで、歌舞伎の人気作品『仮名手本忠臣蔵』の題材が落語・講談等の寄席芸でどう受容されて親しまれてきたのか、その魅力をお話します。  
(協力: 独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場))



- 日時: 11月4日(金) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円(千代田区民・学生 500円)  
※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

## 11/11 (金)

### 世界の音楽2022 ~馬頭琴・風とともに駆ける~

講師: 美炎 miho (馬頭琴奏者)

馬頭琴とは、楽器の棹の先端に、馬の彫刻が施されたモンゴルの弦楽器。馬好きでもある馬頭琴奏者、美炎(miho)が、馬にまつわる曲をはじめ、様々なジャンルの曲をモンゴルや旅の話をつなげて、パーカッション、キーボードと共にお届けします。



- 日時: 11月11日(金) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員: 40名 ■ 参加費: 1000円

## 11/12 (土)

### 千代田区民講座 夢の車の販売に携わって

講師: 秋葉 邦男 (東邦オート株式会社 代表取締役会長)

世の中の流れによって、人々の好みは変わってきます。その中で、人々の好みを探りながら、お客様が何を求めているかをさぐり、それに対応して参りました。経営状態が最も悪い時期に会社を引き受け、「100人いれば、100人全員に満足して頂けるサービス」を徹底してきて、今日があります。そのような経験に基づいたお客様サービスについてお話します。  
(主催: NPO法人 神田雑学大学、共催: 日比谷図書文化館)



- 日時: 11月12日(土) 14:00~15:30(13:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 60名 ■ 参加費: 無料

## 11/18 (金)

### 千代田区内ミュージアム連携企画 展覧会への入口講座 Vol.34 軌跡と筆跡をたどる旅 —美術は「鉄道150年」をいかに表現したか

講師: 若山 満大 (東京ステーションギャラリー学芸員)

鉄道と美術はともに近代日本の黎明期に生まれ、ときに意外なかたちで関係しながら150年の時を歩んできました。鉄道は美術に想像力やインスピレーションを与え、美術は鉄道の知られざる側面を描き出します。さまざまな作品を読み解きながら、鉄道150年の歴史を美術という視点から振り返ってみましょう。



中村宏「ブーツと汽車」 1966年 名古屋市美術館

- 日時: 11月18日(金) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円(千代田区民500円)

## 11/24 (木)

### 第18回ジャパンレτζ講演会 ののしり語から日本語を読み解く —辞書編集者を悩ませる、日本語⑨

講師: 神永 暁 (国語辞典編集者)

「青二才」「あんぼたん」「くそくらえ」「すつとこどっこい」「とちめんぼう」——人をけなす言葉なのに、なんとなく憎めず、どこことなく親しみ深い「ののしり語」。文学作品の中でそれらがどのように使われているか具体例を示しながら紹介します。  
(主催: 株式会社ネットアドバンス、共催: 日比谷図書文化館)



- 日時: 11月24日(木) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円

## 12/1 (木)

### 新しい資本主義を考える

講師: 吉川 洋 (東京大学名誉教授)

岸田文雄内閣は「新しい資本主義」を掲げています。超高齢化が進むわが国では、格差が大きな問題となっていますが格差との闘いの中で誕生した社会保障の財政は行き詰まり、それを支える財政赤字が止まりません。日本経済そのものの地盤沈下も進んでいます。資本主義、格差、社会保障、財政赤字、経済成長について考えます。



- 日時: 12月1日(木) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円

## 12/6 (火)

### 映画「本を贈る」上映会&トークショー ~街に本屋があるということ~

登壇者: 篠原 哲雄 (映画監督)、他ゲスト俳優(予定)

2018年『花戦さ』で日本アカデミー賞優秀監督賞を受賞した篠原哲雄氏が制作した映画『本を贈る』。街から本屋をなくしたくない! という東京都書店商業組合の熱意に賛同し、初のYouTubeドラマに挑んだ9話を1本化した映画の上映&トークショーで、本が人を繋ぐハートウォーミングストーリーをお届けします。(共催: 東京都書店商業組合・「本を贈る」上映会実行委員会)



- 日時: 12月6日(火) 19:00~21:00(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円

## 12/9 (金)

### 東京駅 丸の内駅舎の魅力に迫る ~保存・復原工事完成から10年を記念して

講師: 佐々木 直樹 (東京駅研究家)

この10月、赤レンガの丸の内駅舎は保存・復原工事の完成から10年を迎えました。そして12月、東京駅は開業108周年を迎えます。誰もが知っている東京駅の、知られざるストーリー。とっておきの写真をご覧ください。だきながら、その歴史、文化、建物、人物、エピソード…と底知れない魅力に迫ります。



- 日時: 12月9日(金) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名
- 参加費: 1000円

## 12/11 (日)

### 古書で紐解く近現代史セミナー 第42回 陸蒸気を海に通せ! 大隈重信と日本の鉄道開業

講師: 芳野 貴典 (佐賀県立佐賀城本丸歴史館 学芸員)

1872(明治5)年、新橋~横浜間に日本初の鉄道が開通しました。我が国未曾有の大事業とされた鉄道建設を主導したのは佐賀藩出身の大隈重信でした。維新政府で財政と外交に手腕を發揮する開明派官僚だった大隈が、根強い反対論に屈することなく鉄道事業に邁進した背景と同志たちとの奮闘に迫ります。



東京高輪海岸蒸気車鉄道園 (佐賀県立佐賀城本丸歴史館蔵)

- 日時: 12月11日(日) 14:00~15:30(13:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円(千代田区民・学生500円)  
※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

## 12/13 (火)

### 国際法がわかると世界がわかる ーロシアによるウクライナ侵攻と国際法

講師: 岩月 直樹 (立教大学法学部教授)

収束の兆しどころか、さらなる展開を見せるロシアのウクライナ軍事侵攻。国連安全保障理事会の常任理事国によるあからさまな侵略行為は、国連憲章に基づく第二次世界大戦後の国際秩序を大きく揺るがすものです。この侵攻が、現在の、そして将来の国際秩序に対してもつ意味と影響を、国際法の観点から読み解きます。



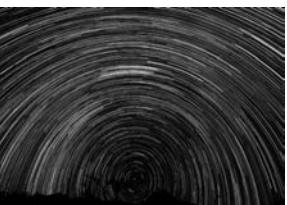
- 日時: 12月13日(火) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円

## 12/15 (木)

### 星のソムリエ® 星空教室 第2回「こよみ、宇宙と暮らす」

講師: 皆川 敏春 (星のソムリエみたか)、北崎 直子 (星のソムリエみたか)

世界中で月の満ち欠けや星々の規則的な周期に気付いた民族はそれぞれ生活に合わせた暦を歴史の中に残しました。日本ではある日を境に月との共同生活を止め、惑星名を使う西洋暦に馴染みます。今宵は天文学や暦の誕生が、秋分や冬至などの二十四節気、周年に合わせたのか、星のソムリエと迫りましょう。



撮影: 皆川 敏春

- 日時: 12月15日(木) 19:00~21:00(18:30開場)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員: 40名 ■ 参加費: 1000円

## 12/18 (日)

### インディペンデントマガジンの世界

講師: 高山 かおり (Magazine isn't dead. 主宰)

いわゆる通常の流通にの一般誌は休刊や廃刊が相次いでいます。そのような状況の中で、インディペンデントマガジンの刊行が2010年代以降勢いを加速させています。インディペンデントマガジンが生まれる背景には何があるのか、どんな風に面白いのかをお話します。



- 日時: 12月18日(日) 14:00~15:30(13:30開場)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員: 40名 ■ 参加費: 1000円 ※11月1日(火)から受付開始

## 開催中! ~11月15日(火) 特別展 学年誌100年と玉井カ三 —描かれた昭和の子ども—



学年誌の表紙を25年描き続けた画家・玉井カ三(たまい・りきぞう)。名前は知らなくても、その絵に描かれた子ども達の笑顔は多くの人の記憶に残っていることでしょう。本展では日本独自の出版文化である学年誌100年の紹介、会場いっぱい飾られた玉井カ三の原画約250点や懐かしい付録などお楽しみいただけます!

- 開室時間: 月~木・土10:00~19:00、金10:00~20:00、日・祝10:00~17:00 (入室は閉室の30分前まで)

- 会場: 1階特別展示室
- 観覧料: 一般300円、大学・高校生200円(千代田区民・中学生以下、障害者手帳などをお持ちの方および付き添いの方1名は無料) ※住所など確認できるものをお持ちください。



From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのおしらせ】

## 趣味の本から学術書まで 教授たちの誘惑 ~日本大学編~

千代田区内にある大学のひとつ、日本大学の理工学部と経済学部の教授約30名が選んだ本と関連本を展示・貸し出します。学術書だけでなく、小説や趣味本など幅広いジャンルの本約180冊が並びます。専門分野を極めた教授陣ならではのおすすめ本をお楽しみください。

- ◎会期: 開催中~2023年1月21日(土) ※11月27日(日)・12月25日(日)・2023年1月1日(日・祝)~3日(火)は休館

◎場所: 千代田図書館9階 展示ウォール



Temptation from Professors